

2020年2月吉日

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会

「自然と共生する世界」の実現にビジネスから貢献
9施設を「いきもの共生事業所[®]※」に認証、
7施設が「いきもの共生事業所[®]」の認証を更新

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会が運営する「いきもの共生事業所[®]認証(通称: ABINC:エイビंक)認証制度」では、このたび、**生物多様性保全に取り組む工場、オフィスビル、商業施設、集合住宅、戸建住宅、物流施設等の9施設を新たに「いきもの共生事業所[®]」として認証いたしました。また今回の更新申請(認証期間3年)によって、7施設が認証を更新しました。今回の認証を含め、**認証件数は86件**となりました。**

本認証制度は、一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB[※])が開発した「いきもの共生事業所[®]推進ガイドライン」を評価基準とした第三者認証であり、今回が第8回目の認証となります。本ガイドラインは、生物多様性国家戦略 2012-2020において、事業者が生物多様性に配慮した社有地の管理をすすめるための方策として紹介されており、多くの企業がこれを参考に取り組みを始めています。

今後も、工場等を評価する「工場版」、都市再開発やショッピングセンター向けの「都市・SC(ショッピングセンター)版」、集合住宅向けの「集合住宅版」、物流施設や戸建住宅団地を評価する「戸建住宅団地版および物流施設版」と幅広い施設用途に合わせた第三者認証制度を実施してまいります。また昨年度は新たに、街区レベルの大規模施設を評価する、ABINC ADVANCE(アドバンス)も開始されました。認証または認証更新された施設は以下の通りです。(認証番号順)

【新規】認証施設 名称	主用途	事業者	施設住所
(仮称) 武蔵野市境南町2丁目計画 新築工事	集合住宅	三菱地所レジデンス株式会社	東京都武蔵野市
花王株式会社 小田原事業場	工場	花王株式会社	神奈川県小田原市
愛知製鋼 中新田緑地	工場	愛知製鋼株式会社	愛知県東海市
JXTG エネルギー株式会社 根岸製油所 中央緑地	工場	JXTG エネルギー株式会社 根岸製油所	神奈川県横浜市
(仮称)Brillia Tower 聖蹟桜ヶ丘 ブルーミングレジデンス	集合住宅	東京建物株式会社 株式会社東栄住宅	東京都多摩市
ESR 尼崎ディストリビューションセンター	物流施設	ESR 株式会社	兵庫県尼崎市
ロイヤルシティ阿蘇一の宮リゾート ～ASONOHARA 草原育成プロジェクト～	戸建住宅	大和ハウス工業株式会社	熊本県阿蘇市
ガーデンクロス東京王子	集合住宅	西日本鉄道株式会社 三菱地所レジデンス(株) 関電不動産開発(株) 株式会社ジェイアール東日本都市開発	東京都北区
イニシア和光	集合住宅	株式会社コスモスイニシア	埼玉県和光市

【更新】認証施設 名称	主用途	事業者	施設住所
イオンモール長久手	都市・SC	イオンモール株式会社	愛知県長久手市
MARK IS みなとみらい	都市・SC	三菱地所株式会社 三菱地所リテールマネジ メント株式会社 エムエムデベロップメント 特定目的会社	神奈川県横浜市
三井住友海上 駿河台ビル／駿河台新館	都市・SC	三井住友海上火災保険株 式会社	東京都千代田区
大手町タワー	都市・SC	東京建物株式会社 株式会社みずほ銀行	東京都千代田区
イオンモール東員	都市・SC	イオンモール株式会社	三重県員弁郡
横浜ビジネスパーク	都市・SC	野村不動産株式会社	神奈川県横浜市
日比谷パークフロント	都市・SC	グリーンアセットインベ ストメント特定目的会社 株式会社日本政策投資銀行 ケネディックス株式会社 東急不動産株式会社	東京都千代田区

※いきもの共生事業所®はJBIBの登録商標です

※ビジネスによる生物多様性保全において先進的、積極的な取り組みを進める企業の集まりです。

認証書のロゴ

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会では、今回申請いただいた施設の取り組みを活用し、認証制度の進化に取り組みます。また、今後、ガイドライン及び認証制度の普及・啓発を担う人材の育成に力を入れ、さらに認証の適用範囲を、工場、物流施設、集合住宅、戸建住宅団地、公共施設等に拡大していくことによって、自然や地域共同体と共生する土地利用に取り組みやすい世界の実現に貢献して参ります。



ABINC
Association for Business Innovation
in harmony with Nature and Community

【一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)について】

生物多様性条約第10回締約国会議(CBD COP10)において採択された愛知目標および生物多様性戦略計画で掲げられた、2050年までの長期目標「自然と共生する世界」の実現と、2020年までの短期目標「生物多様性の損失を止めるために効果的かつ緊急な行動を実施する」の実現のために、ビジネスの貢献が求められています。当法人は、「自然と共生する世界」の実現にビジネスの貢献を推進するために、自然環境と地域共同体への負荷をできるだけ外部化しようとしてきた企業活動のベクトルを反転させ、志をともしる団体と協働して、いきもの人と人が共生できるしくみを「創造」し、科学的・技術的に「検証」し、「事業化」を推進することを目的として設立されました。

【団体概要】

■名称：一般社団法人いきもの共生事業推進協議会

[英文名: Association for Business Innovation in harmony with Nature and Community
＝略称ABINC(エイビンク)]

■設立：2013年12月25日 ■連絡先：info@abinc.or.jp ■ホームページ：<http://www.abinc.or.jp/>

■理事：中静 透 (総合地球環境学研究所 特任教授) <代表理事>

森本 幸裕 (京都大学 名誉教授)

黒田 大三郎(公益財団法人 地球環境戦略研究機関シニアフェロー)

足立 直樹 (一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ 理事・事務局長)

原口 真 (一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ 顧問)

■監事：梶谷 修 (一般社団法人 日本環境アセスメント協会会長)

<本発表に関するお問い合わせ先>

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)事務局 事務局長：安斉 担当：渡辺・岩沢

※事務局業務取扱い受託 MS&ADインターリスク総研株式会社 株式会社シーエーティ

e-mail: abinc@catcorp.jp TEL: 045-228-7696